

## イベントカレンダー

1	日	★冬の野鳥観察講座 <small>(申込終了)</small>
13	金	季節の植物観察ガイド (9)
21	土	野鳥観察会-冬鳥をみよう (4) -
21	土	★冬の星座観望会
22	日	日本庭園の植物観察会
13	金	季節の植物観察ガイド (10)
21	土	野鳥観察会-冬鳥をみよう (5) -
22	日	春の野草の観察会
28	土	木や竹、木の実を使った工作

★印は要事前申込です。

水曜休館。

開館時間は午前10時～午後4時まで。

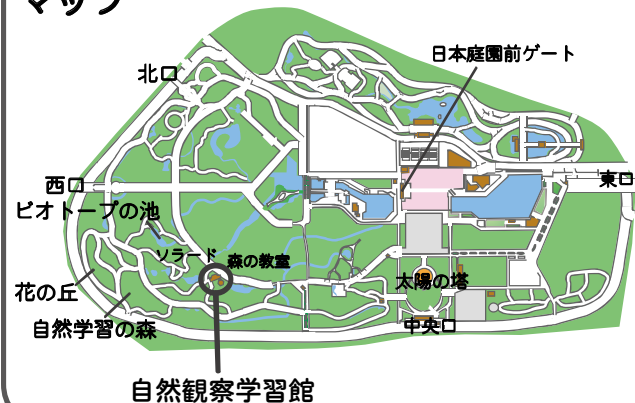
○行事の詳細、参加の方法などは自然観察学習館までお問い合わせください。

○学校などの団体対象の理科、生活科、総合学習などの教育活動支援も行っております。

## 館内展示

冬の自然展	開催中～2/2(月)	園内で見られる冬の植物や昆虫などを紹介
春の自然展	2/5(木)～4/6(月)	園内で見られる春の植物や昆虫などを紹介
パネル展示 森再生への取り組み	開催中～3/31(火)	「自立した森」再生の取り組みについて展示

## アクセス マップ



## ～編集後記～

まだまだ寒い日が続きますが春はすぐそこまで来ています。2月5日からの春の自然展では、園内の春をいち早くお届けしますので、ぜひご来館ください。

## カワセミだより Web版

万博公園TOP > 自然観察学習館 > 広報誌「カワセミだより」  
<http://www.expo70.or.jp/cause/nature/observation/#caption4>

# ふゆ 冬みつけ 2/2 まで

ばんぱくこうえん 万博公園で **冬みつけ** ビンゴ!

ビンゴ用紙は自然観察学習館、各ゲートでもらってね。

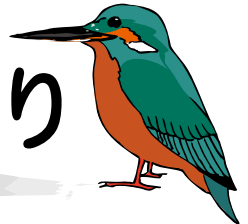
みつけた「冬」にマルをつけてビンゴを完成させよう!

ビンゴになったら自然観察学習館に持ってきてね。  
 1日につき先着30名様学習館から「森のプレゼント」があるよ。

2015.2.01

# 2月号 カワセミだより

NO.107



〈発行〉自然観察学習館 大阪府吹田市千里万博公園1-1 TEL:06-6877-6923  
 カワセミだよりでは、園内で出会える植物・昆虫・鳥などの自然のミニ知識を紹介しています。



**野鳥** しあわ せいせいの せいせいハト!?

**アオバト** (ハト科)

学習館で がくしゅうかん 標本を展示中!!

ハトはみんなに親しまれている鳥だけど、園内で見かけるハトの間にはアオバト、キジバト、ドバトの3種が含まれているよ。アオバトは数が少ないけれど、コツを覚えると見つけれられるかも!?

**森林を探そう**

市街地でもよく見かけるハトの仲間。でもその大半はドバトです。アオバトと出会うには森林を探すのがポイント。樹上で木の実や新芽を食べているハトがいたらアオバトかもしれません。じっくり観察してみてください。

**アオバト**

緑灰色  
 緑色  
 赤紫色

- ・森林に生息。
- ・羽根は緑色の部分が多いが、鳴き声は「アーオーオー」。
- ・地域によっては海水を飲むものもいる。

**青くはない??**

アオバトの体色は主に緑で、青くはありません。ただ、「青」という言葉にはもともと緑や藍色も含まれていました。今でも「青野菜」などと緑色のものを指して青と呼ぶことがあるのと同様に、このハトも「アオバト」と呼ばれているようです。

**シルエットはそっくり!?**

園内で見られる3種のハト類は、どれも体型や大きさが似ています。もしハトの仲間に出会ったら、少し立ち止まって色や模様の違いをじっくり観察してみてくださいね。

**ドバト** 灰青色  
**キジバト** 灰褐色

色には個体差あり 鱗のような模様



# 赤いピカピカの木の实 クログネモチ

園内では水の広場近くなどで見られるよ。



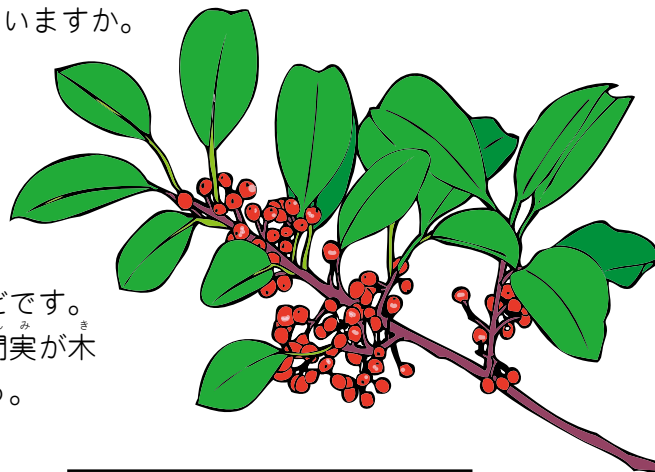
## 名前の由来

クログネモチの『クログネ』は小枝や葉柄が黒鉄色だから、『モチ』は樹皮から『鳥もち』が採れることに由来しています。

## 目立つ赤い実

クログネモチの実が熟するのは11月頃からで、赤色のつるつるした美しい実がなります。花の形が少し異なる雄の木と雌の木に分かれ、実のなる方が雌の木です。

クログネモチは、モチノキ科の常緑広葉高木です。11月～2月の寒い時期によく目立つ光沢のある赤い実がつけます。丈夫でよく育つことから、庭や公園によく植えられます。身近な木ですが、みなさんはクログネモチがどんな特徴があるか知っていますか。



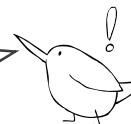
## 実を食べにくる鳥

この実を食べにくる鳥はツグミやヒヨドリなどです。しかし、実が熟しても食べだすのは遅く、長期間実が木に残ります。木と一緒に鳥も観察してみましょう。



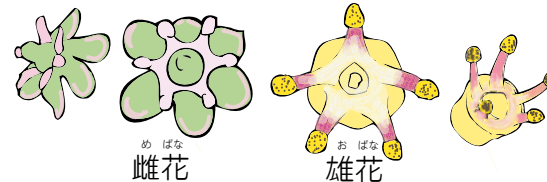
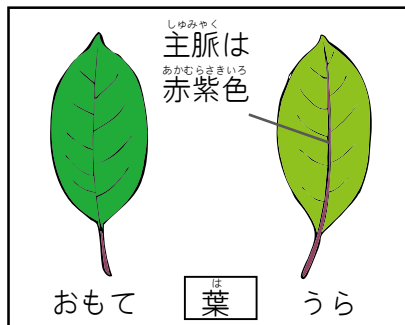
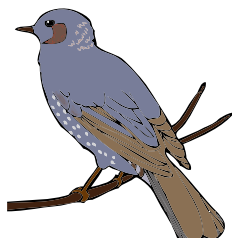
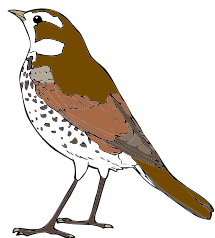
『鳥もち』とは鳥や昆虫を捕まえるのに使う粘着性の物質のことだよ。

名前にモチがつく植物といえばカナメモチやネズミモチがあるよ。なんでモチがつくんだろう？調べてみよう！



## どんな花が咲く？

真っ赤でよく目立つ実とは対照的に花は薄紫色で小さく控えめです。葉のつけ根に咲くこともあり、あまり目立ちません。花が咲くのは5～6月です。雄花と雌花の形の違いを見てみましょう。



ヒトデのように尖った形。雄しべが5～6本つく。

**ツグミ**  
全長約24センチ。全体的に茶褐色で翼は明るい茶色の鳥。

**ヒヨドリ**  
全長約27センチ。全体的に灰色で頬は赤茶色の鳥。

## 春を知るための2つの手がかり

アゲハやモンシロチョウは、チョウの中でも蛹になって冬を越す仲間ですが、毎年春になると、当然のように成虫になります。でもちょっと待ってください。彼らは何を手がかりに春の訪れを知るのでしょうか？もちろん「気温の変化」も重要な情報です。ただ、それだけだと冬にたまたま暖かい日が続いた時に、間違っ成虫が出てきてしまいます。そうならないために、彼らは日の長さ（正確には「連続した暗い時間の長さ」）も察知します。暖かさだけでなく、昼と夜の長さからも、それを「春」だと判断するのです。

そろそろ春かな？



このコーナーでは自然を楽しむための色々な工夫や方法をお伝えしています。